

ANA



左)ANA総務部 門元ゆかり氏 右)弊社営業担当 阿部

## 安価かつスムーズな導入と実情に適したシステム運用、 長年の「宅急便」で培った強力バックアップがカギ。

「導入の決め手は3つありました」と、社内便改革を担当したANA総務部の門元ゆかり氏は語る。

### 1. システム導入負担の少なさ



導入先がANAグループや業務委託先も含め70社以上にも及ぶため、安価かつスムーズな導入が求められた。『社内便トレースサービス』は、一からシステムを開発する必要がなく、インターネット環境さえあれば導入可能なASPサービスであるため、誰もがすぐに利用できた。

### 2. 現場の実情を理解したシステム

航空会社という特性上、現場部署を多く抱えるANAでは、煩雑な手続きや大幅な運用変更は許されない。

そこで、既存の社内物流ネットワークを活かし、利用者の負荷を最大限軽減させた。送付者がASP上でマスタ管理された部署名からワンクリックで送付状を作成。送付状にはバーコードが印字される。一方、通過部署では、ハンディターミナル(バーコードリーダー)でバーコードを読み込み、専用のクレードルに載せる。パソコン入力などの複雑な操作の必要がなく中継地点の履歴を取得できるため、現場の混乱や負担も少ない。



重要社内便専用資材

### 3. ヤマトシステム開発だから出来るバックアップ

「グループ会社間でのやり取り、定期便と不定期便の混在、全国一斉運用開始など、課題もたくさんあった中で、担当ひとりで、運用開始まで1年を切るスピードで導入。ノウハウに長けたヤマトシステム開発の解決力に大変助けられました。」と門元氏は笑顔を見せる。

### 社内便配送状況の可視化

総務部で一元管理する体制が確立した。全体の利用の流れ、利用件数とコスト、重要社内便の配送状態の全てがいつでも正確に把握でき、紛失はゼロ。誤配、遅配の問い合わせも減り、作業効率は飛躍的に伸びた。

### リスク管理とコスト削減の両立が実現

以前は、個人情報などの重要書類は簡易書留や高コストな配送業者を利用していた。しかし今では重要書類も社内便で送れ、試算によれば年間6千万円の削減に成功している。門元氏の上司、ANA総務部の小林義己担当部長は「リスク管理とコスト削減が両立できました」と高く評価する。



ANA総務部 小林義己氏

『社内便トレースサービス』は、今日も社員数3万5千人にも上る大企業グループを日々飛び交う膨大な社内便を支えている。ANAでは、さらなる拡充も視野に、同システムを活用して行く予定である。

ANAグループは「社内便改革」で、  
6000万円のコスト削減と  
誤配・遅配の防止を実現。  
社内便の管理体制強化と、年間6000万円のコスト削減を可能にした  
ヤマトシステム開発(株)の「社内便トレースサービス」。  
2009年3月、ANAグループ全体にシステム導入。

### 社内便トレースサービスとは

社内便物流に宅急便のクオリティを実現したASPサービスです。

#### ■授受確認をEメールにてお知らせ

受取人には配送した旨を、差出人には受領した旨をEメールでお知らせします。「送りました」「届きました」といった連絡が自動で送信されます。

#### ■配送状況が一目瞭然

自分が出した、もしくは受け取る予定の社内便をすばやく検索。日付や管理番号での絞り込みもでき、いつでも最新の配送状況をご確認いただけます。

#### ■紛失・誤配・遅配の防止と早期発見

社内便業務情報を共有化・一元管理することにより、業務の効率化、生産性向上はもとより誤配・遅配の早期発見につながります。

業務プロセス効率化パートナー

ヤマトシステム開発株式会社

お問い合わせ

ITセキュアソリューション事業部  
〒135-0016 東京都江東区東陽3-23-22 東陽ANビル9階

TEL ☎ 0120-01-0260 (受付時間 平日9:00~18:00)  
URL <http://www.nekonet.co.jp/>



社内便

検索